

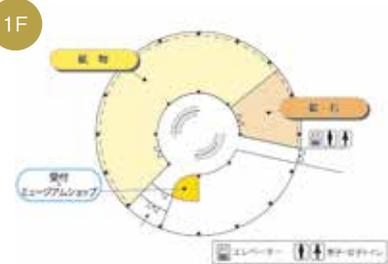
# 国際資源学研究科附属鉱業博物館 Mineral Industry Museum



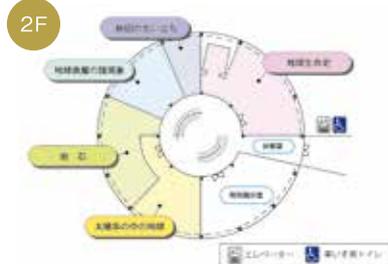
鉱業博物館は、秋田大学の研究活動において収集された、地球と資源に関する資料や標本を展示・保管している国際資源学研究科の附属施設です。

その沿革は、鉱山技術者養成のため1910年に設立された秋田鉱山専門学校に始まります。その後、新制大学発足当時の鉱山博物館を経て1961年に現在の建物が建設され、鉱業博物館となりました。

常時公開されている展示棟では、様々な鉱物・鉱石・岩石・化石を見学でき、地球の歴史と資源の生成について学ぶことができます。また、鉱山機械の実機や精密模型を用いて、資源開発の流れと鉱山技術をわかりやすく解説しています。また、特別展や開放講座を通して、最新の研究や幅広い学術分野の成果を紹介しています。



1階は、鉱物と鉱石を展示しています。ここに展示された標本は秋田鉱山専門学校設立以来のスタッフや学生、OB/OGらが収集したり、鉱山会社から寄贈された標本が母体になっています。国内最大規模の約500種2200点におよぶ貴重な標本を見ることができます。



2階は隕石、岩石、地層、化石の標本を展示しています。展示室に入ると「太陽系の中の地球」「岩石」「地球表層の諸現象」「秋田の生い立ち」「地球生命史」の5つの展示コーナーがあります。私たちの地球はどのような物質からできていて、どのような現象が起きていたのか、生命はいつごろ誕生しどのように進化したのかについて、多数の標本とパネル、そしてデジタルコンテンツを利用して読み解くことができます。



3階は、「資源開発」についての展示です。資源の開発技術は、多岐にわたっていますので、当館では、資源開発の流れを「探鉱」「採鉱・採油」「選鉱」「製錬」の4つの工程に分類し、鉱物の探査から金属の製造まで、それぞれを独立したコーナーとして展示しています。他にも、「鉱物資源の分布」「鉱山の保安技術」「自然エネルギー」「秋田の鉱山史」の展示を設け、鉱山技術の全容とその変遷が学べるようになっています。

## ご利用案内

- 開館時間：9:00～16:00
- 休館日：年末年始（12月26日～翌年1月5日）  
12月～2月の日曜日と祝日
- 入館料：大人100円／高校生以下無料
- 無料館内案内：サイエンスボランティアによる館内案内を行っています。（一週間前まで要予約）



Googleストリートビューサービスにて鉱業博物館内を公開しています。展示棟1階から3階までを、360度のパノラマ写真で見渡せるようになりました。パソコンやスマートフォンの画面から簡単に見ることができますので、館内のバーチャル体験や、ご見学前の下見などにご活用ください。Googleマップで、「鉱業博物館」と検索していただくか、こちらの二次元バーコードからご覧いただくことができます。

